

2025年8月29日

各位

株式会社フジテレビジョン

第5回『サステナビリティ経営委員会』の開催について

当社は本日、第5回「サステナビリティ経営委員会」（以下、「委員会」）を開催いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本日の委員会の内容

(1) サステナビリティ行動規範の策定に向けた議論

当社は、当社が人権の尊重及び環境への配慮も含むサステナビリティ課題全般についての取り組みを推進するうえで遵守すべき事項を「サステナビリティ行動規範」として定め、バリューチェーン上のビジネスパートナーの皆様にも本行動規範に示す事項へのご理解とお取組みの推進をお願いしていく方針です。委員会では、本行動規範のドラフトをもとに議論を行いました。

(2) WEPs（女性のエンパワーメント原則）への署名に向けた取り組み

すでに当社代表取締役社長による署名の方針を決定している WEPs（女性のエンパワーメント原則）。国連グローバル・コンパクトとUNIFEM（現UN Women）が共同で作成したジェンダー平等推進に取り組むための行動原則)¹について、委員会参加者がその基本構造を学び、経営課題として更に深く理解するため、本委員会の外部アドバイザーであり特定非営利法人Gender Action Platform理事の大崎麻子氏による講義を行い、参加者との意見交換を実施致しました。大崎氏は、女性の人権侵害を容認する風土やガバナンスの脆弱性が当社の経営を揺るがした事実を踏まえ、投資家を含む様々なステークホルダーが注視する国際人権基準に沿った取り組みとして、WEPsを実践に落とし込む必要性を強調しました。また、WEPs指標に基づき、当社の様々なデータを男女別に分析した結果から、構造的な不均等があることを示し、今後、経営層が旗振り役となって、社内横断的な取り組みを進めるよう促しました。

2. 今後に向けて

今後も継続的に委員会を開催し、委員会直下の各プロジェクトにおける個別施策等の検討を進めながら、当社のサステナビリティ経営の実現に向けて、実効的な施策を速やかに実行してまいります。

なお、委員会での協議内容や各種施策の実施状況等については、今後も随時開示を行う方針です。

以上

¹ UN Women Webサイト「[WEPs（女性のエンパワーメント原則）](#)」をご参考ください。